



看護問題対策委員会ニュース

全日本赤十字労働組合連合会

NO.08-03 08.10.8

10・7本社看護部との労使協議会で

「年休を予め制限することはいかなものか」

昨日、全日赤看護問題対策委員と地方協女性部長、本部役員の10名で、日赤本社地下会議室において、13:30～15:30まで、本社看護部と労使協議会を行い、「7：1」看護、2交替制夜勤、キャリア開発ラダーなどの問題と実態を協議しました。

(詳しくはFAX情報で)

「7：1」看護基準について

全日赤；外来からのリリーフ体制などで、帳尻合わせで「7：1」をとっているので、外来看護師はたいへんだ。メンタルを悪化させている。また、年休は取れなくなっている。勤務表の希望を書く表に、最初から「年休はあげられません」と書いてある。

看護部長；今年7月の時点で、「7：1」は、68%の施設がとっている。外来・病棟の一体化もすべて悪いとは思っていない。安全の面からもやり方の工夫が必要だ。勤務を希望する時に、年休を予め制限することは、いかなものか。年休の平均取得は8.3日だ。外来でのケアの充実は必要であり、熟練した看護師の配置が望ましいです。

2交替制夜勤反対について

全日赤；4月から2交替制の職場で勤務している。朝まで体力がもつように、体力を小出し小出しで働く。1時間36分の休憩があるが、眠れない。朝動き始めるとフラフラする。若いスタッフもろれつが回らない。申し送りが終わってから記録。休んでからでないで帰る気になれない。試行というなら血圧・脈拍など健康調査をしてほしい。

看護部長；日赤全体では、44の施設に長時間夜勤が導入されている。3交替のみのところは30施設。試行だからいろいろ調査をしてみたらどうか。

全日赤；交替制勤務者の労働時間短縮をぜひ考えてほしい。

離職防止について

全日赤；ある病棟で、36人中13人辞めた、配置換えでベテランがいなくなり、若いスタッフは、こわくて夜勤ができないという。職場に余裕がないから、丁寧な指導ができない。

看護部長；離職防止は最重要課題です。女性が働きやすい環境をつくりたい。

看護師賠償責任保険について

看護部長；「看護師責任賠償保険」には加入する必要はありません。看護行為に関しての医療事故については、本社の加入している事故保険でカバーできるので、入る必要はないです。現在加入している保険に日赤職員がどのくらい加入しているか、また、どのくらい支払われたかについては、データはもっていません。